

令和4年9月7日（水）府中町立府中小学校
【夢あふれる学校図書館見学会の様子】



【事後アンケートより】

本見学会において会場校より学んだこと

- ・ 読書活動を推進することで、児童にどんな力を付けたいのかを学校全体で共有し、取り組むことが大切だと分かった。教員が進めるだけでなく、地域の方に協力していただいたり、委員会活動で児童が自発的に行動したりとそれぞれが図書館をよくしたいという気持ちがあるからどんどん発展していくのだと分かりました。実際に見学をする中で、この図書館だったら本が手に取りやすいなあ、ここに来るだけでワクワクする気持ちになるなあと感じながら私自身がとても楽しく図書館見学をすることができました。
- ・ 校長先生のお話から、学校図書館の環境づくりや読書活動の充実を図るためには、まずは、学校としてどのような力をつけようとしているのかを明確にし、ボランティア等の方ともその思いをしっかりと共有することが大切であることがわかりました。「図書館の中に学校がある」と言われた通り、環境整備についてもとても参考になりました。命のコーナーや各コーナーの教室には、思わず行きたい！読みたい！と思うような展示や配架があり、各学年のフロアには発達段階に沿った選書や配架がしてあったりして、ふと手に取りたくなるような環境にわくわくしました。
- ・ 学校が、読書を通して子どもたちにつけさせたい力が明確でした。その目標に向かって、教員だけではなく、地域の方や保護者、子どもたち自身もが協力しあっていることに感銘を受けました。「子どもたちにどうなってほしいのか」を学校全体で共有することが大切なのだと、改めて実感しました。そして、その未来像を学校外に発信していくと、協力してくださる方が現れるのだと希望が持てました。

- ・ 読書を学校経営方針の柱にし、読書に力を入れるために、環境の整備と人を動かす（児童も含めて）システムづくりを徹底して行っている。また、たくさんの図書ボランティアがサポートしている姿を見習いたい。
- ・ 子どもたちのすぐ近くに、すぐ手に取れる所に読書スペースを設けるという発想が参考になりました。本校は廊下等に多目的スペースはありませんが、思いがけない一画が有効に使えるかもしれないので、そういう目線で校内や教室を見ていきたいと思います。また、読書を中心とした単元開発や日々の読書活動の工夫も参考になりました。
- ・ 本校でも現在、学校図書館の環境整備と利活用、読書活動の充実に取り組んでいるところです。府中小学校の取り組みから、本校でも取り入れたいと思うことがたくさんありました。学校としてのコンセプトを確認し、本校の強みを活かした取組になるよう充実を図っていききたいと思います。
- ・ 子どもと本の距離を近くしたいです。府中小学校のような広いオープンスペースがなくても、各学年前の廊下等、工夫できるのではないかと思います。貸出冊数を増やす、不読率をゼロにする…数字に囚われ過ぎず、「本好きの子」を増やしていきたいです。
- ・ 学校の構造上取り組みにくいこともあったが、児童が本を手に取りやすいようレイアウトを工夫するだけでも印象が変わると分かった。学校司書の先生と連携しながら取り組んでいきたい。また、図書委員会の活動や授業実践も多く紹介されていたため、ぜひ取り入れて実践していきたいと感じた。
- ・ 「いつでもどこでも本を手にとることができる」環境づくりを行っていくことで、子どもの読書習慣を身に付けさせていきたいと思います。
- ・ 学校図書館なので、きちんとした本を入れがちですが、ただ好きだから読む本に、手にとってみたい魅力ある本も選書に入れ、手に触れてみることから始めたいと思いました。
- ・ 学級文庫などを工夫し、わざわざ図書室に来なくても、隙間時間に本をすぐ手に取れるような本の配架を考えたいです。
- ・ まずは図書室をリニューアルできるように、市教委でできることについて構想を練っていきます。

